

第 8 回「REIC 防災セミナー」開催報告

REIC では、平成 25 年度より防災・減災に関する情報提供の場として「地震・防災リレーセミナー」を、地震予知総合研究振興会（ADEP）と共催で定期的を開催してきました。平成 26 年度から「REIC 防災セミナー」として、さらに内容を充実させていく所存です。

4 月 25 日（金）17：30～19：00、ADEP の会議室にて第 8 回セミナーが開催されました。講師は東京大学教授の目黒公郎氏です。目黒氏は、専門は都市震災軽減工学、防災戦略論で、現在東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長ほか多くの要職に就かれています。

講演題目は「大震災対策：貧乏になっていく中での総力戦を戦うために」です。最初に、防災というものが人々の善意に頼るものではなく、きちんとビジネスとして成立することが重要であるということを強調されました。また、防災という言葉自体にネガティブな響き（イメージ）があることから、もっと前向きに捉えられるネーミングが必要で、やることによってメリットがあるプラスのイメージを持つ言葉にするとこれまでとは違う人達が興味を持って集まってくるということでした。

目黒先生の手掛けている研究テーマは、ハードからソフトまで実に 20 にも及ぶ広範囲なもので、とても今回のセミナーでその全てをお聞きすることはできませんでしたが、シンプルで高精度な構造物破壊解析法の開発、途上国の組積造構造物の耐震性向上を実現する技術と社会制度の研究、多目的ブイと宗教施設を利用した津波災害軽減システムの研究、次世代型防災マニュアルと災害情報システムの研究等についてお話を頂きました。

次回は、6 月総会時に第 9 回を予定しております。講師は名古屋大学の福和伸夫先生。講演題目は「総力を結集し南海トラフ巨大地震を凌ぐ」です。